

概要

WISH ワーキンググループの目標は、通信衛星を用いたインターネットの統合環境の構築である。

衛星通信回線と地上網を中心とする既存のネットワークをそれぞれの特徴を活かす技術の研究を行なっている. 衛星通信回線は、同報性、回線設定の柔軟性に富み、放送型のアプリケーションの需要が多い現在のインターネットでの有効な技術の開発が望まれている.

WIDE では、 日本サテライトシステムズの通信衛星 JCSAT-1 や JCSAT-3 を用いて研究を行なっている.

年に2回行なわれるWIDE 合宿では、WIDE のNOC と合宿会場の間を可搬型の地球局を持ち込んでネットワーク接続している。双方向リンクはもちろん、片方向リンク(UDL)の実験もその場で行なっている。

研究成果

- ・衛星通信網を多地点接続のためのデータリンク機構の構築
- ・シリアル接続衛星通信モデムをブロードキャスト型インタフェースとして使うシステムの構築
- ・受信専用ノードにおけるNAT技術に基づく経路選択機構の構築
- ・IETF UDLR(Uni Directional Link Routing) WG における標準作成に対する貢献と、インターネットドラフトに基づく実装と相互接続の検証

Internet-Draft

Hidetaka Izumiyama, Akihiro Tosaka, Akira Kato, "An IP tunneling approach for Uni-directional Link routing", Interne Draft, draft-izumiyama-udlr-tunnel-00.txt

July 1997

Hidetaka Izumiyama, Akihiro Tosaka, "Dynamic Tunneling Path Configuration", Internet Draft, draft-izumiyama-udlr-dtpc-00.txt July 1997

Hidetaka Izumiyama, Hitoshi Asaeda, Noboru Fujii, Jun Takai, Noritoshi Demizu, "An IP tunneling approach for Uni-directional Link routing", Internet Draft, draft-izumiyama-udlr-tunnel-01.txt November 1997

Emmanuel Duros, Walid Dabbous, Hidetaka Izumiyama, Noboru Fujii, Yongguang Zhang, "A Link Layer Tunneling Mechanism for Unidirectional Links", Internet Draft, draft-ietf-udlr-Iltunnel-00.txt March 1998

論文発表等

村井 純. 水野 勝成. 三谷 和史. 加藤 朗. 山口 英. 石田 慶樹. 衛星ネットワークを統合したインターネット {-- WISH --}, 情報処理学会. 第49回(平成6年後期)全国大会予稿集, I-205-206 1994年9月

竹井 淳. 泉山 英孝. 村井 純. 楠本 博之. 登坂 章弘. 望月 祐洋. WISH衛星ネットワークの性能評価. 情報処理学会. 第49回(平成6年後期)全国大会予稿集, I-207-208 1994年9月

中村 修. 村井 純. 西田 佳史. 峯尾 淳一. WISHにおけるインターネットトラフィックの解析. 情報処理学会. 第49回(平成6年後期)全国大会予稿集, I-209—210

1994年9月

西田 佳史, 中村 修, 楠本 博之, 村井 純,衛星通信を利用した放送型 ネットワークに関する研究,情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会, 1995 年 6 月

登坂 章弘. 西田 佳史. 楠本 博之. 村井 純,WISH ネットワークにおける動的トポロジの制御システムの構築.情報処理学会マルチメディア通信と分散処理研究会

1995年7月

登坂 章弘、楠本 博之、村井 純,インターネットのための衛星通信制御機構の構築,日本ソフトウェア科学会、日本 UNIX ユーザ会、WIDE プロジェクト、インターネットカンファレンス

1996年7月

西田 視磨, 楠本 博之, 村井 純, 単一方向衛星回線を含むネットワークのためのアドレス変換機構を用いたネットワークアーキテクチャ, 電子情報通信学会論文誌 B-II

1998年5月号

登坂 章弘, 楠本 博之, 西田 視磨, 村井 純インターネットのための衛 星通信制御機構の構築,日本ソフトウェア科学会論文誌

1998年9月号